

**長崎検定塾**  
**～もっと長崎ば知ろう～**





塾長 小岩 寿樹

### ■ 塾長コメント ■

—昨年 6 月に還暦を迎え、人生の来し方を  
つらつら思い巡っていました。18 歳の時に  
上京して、日ごろの生活の慌ただしさに、し  
だいに故郷である長崎の事を忘れてしまっ  
たが、私の人生の節目節目には、必ず長崎とい  
う町の存在があり、つらい時や挫けた時には、  
あの稲佐山の鉄塔が、私を励ましてくれてい  
たという事に、60 にしてやっと気が付きま  
した。

そこで、これからの生活の中で「長崎への  
恩返しをしよう」と思い立った時に「長崎検  
定」と出会い、悪戦苦闘の結果、東京開催第  
1 回目の試験で 3 級を取得することができま  
した。

そして、その検定試験を広めることが長崎  
のためになり、特に多くの人口を抱えている  
首都圏で PR できれば、長崎に関心を持つ人  
が増え、長崎に貢献できるのではないかと思  
い、この塾を立ち上げました。

同じ思いの同土もたくさん集まり、ほんの  
少しだけ、長崎のためになったと自負してい  
ます。

講師を務めていただいた山口広助さんが、  
いみじくも「長崎に生まれたというだけで、

皆様は幸せ者です」とセミナーで言われ、そ  
の言葉は、身に沁みました。

北陸新幹線開通で、昨年一番人気の金沢に  
は負けられません。また、夜景でもライバル  
で、北海道新幹線の開通で湧く函館にはもっ  
と負けられません。これからも長崎という素  
敵な町のことを、特に首都圏で発信してい  
きたいと思っています。

### ■ 塾の目的 ■

長崎出身者はもちろんのこと、その関係者  
や旅行で長崎が好きになった他都府県の人た  
ちに、長崎を勉強してもらい、さらなる興味、  
関心を喚起するとともに、その方々に諸々の  
場所で長崎を語ってもらう「語り部」あるい  
は「伝道師」になってもらうことを目的とし  
ます。

それによって、初めて来崎する人を増やし、  
また、奥深い歴史や文化を広めることでリピ  
ーターを増やし、国内での、いや世界での長  
崎の地位を上げたいと思っています。

### ■ 塾の研究・活動内容 ■

合わせて 6 回の長崎セミナーを開催しまし  
た。

講師は、長崎市役所や商工会議所のご協力  
もあり、長崎から 5 名、東京で 1 名を招き、  
その分野の詳しい話をさせていただき、これま  
で知らなかった長崎の歴史に、「目から鱗」  
の状態が続出しました。

長崎検定の出題分野は 16 項目に分かれて  
いますので、重複もありましたが、ほぼ 10  
～12 章分の内容を学びました。

そして、公式テキストブックに載っていな  
い問題集や塾生自作の問題集を作成するなど  
して、検定試験に備えました。

第5回のセミナーについては、「長崎市ビードロ会」が毎年、多摩川の土手で「ハタ揚げ大会」を開催しているという縁から、東京都大田区と長崎市とが共催した「大田区・長崎市交流シンポジウム」の中の基調講演として開催しました。

シンポジウムは、大田区蒲田の約550名収容のホールで開かれ、400名以上が来場し、塾生が会場のロビーの展示や来賓の受付、長崎物産の販売等の役割を担い、来場した多くの東京の方々に対し、大いに長崎をPRしました。

また、塾生達は、長崎市長から直接長崎の未来像を聴き、最後には市長自らの激励の言葉に、首都圏での今後の活動の意気込みを新たにしました。

### ■ 塾活動の成果 ■

塾生全員が「長崎大好き！」という事が確認できたのが、大きな収穫です。

「長崎のためなら…」という思いが、塾生に、セミナーやシンポジウムでの長崎のための行動をとらせました。

また、学んだ内容も、非常に興味深いものが多く、諸先生方には大変感謝しています。学べば学ぶほど、新しい知識も増えていき、塾生が自分で研究し、作成した「長崎検定試験問題集」の問題数は110問を超えました。

今年も、東京の墨田区両国で「長崎検定試験」が実施され、塾生が受験したところ、新たに2級合格者が4名、3級合格者が4名誕生しました。

これからも長崎検定を学ぶことで長崎のことを知り、いろいろな場所で長崎を語ることができる「伝道師」として活動できるようにしていきたいと思えます。



## 長崎検定塾 ～もっと長崎ば知ろう～ 活動記録

日 時	場 所	内 容
<b>平成 27 年</b>		
5 月 16 日 (土)	日比谷市政会館	第 1 回長崎セミナー 講師：股張一男さん (長崎市観光政策課長・検定 1 級取得者) テーマ：「長崎市の現在の観光政策および戦略」
7 月 4 日 (土)	日比谷市政会館	第 2 回長崎セミナー 講師：山口広助さん (長崎歴史文化協会理事、丸山町自治会長) テーマ：「長崎の町の成り立ち」「町あるき」
9 月 26 日 (土)	日比谷市政会館	第 3 回長崎セミナー 講師：船津義海さん(検定 1 級の会会長) テーマ：「長崎さんぽ」
10 月 31 日 (土)	日比谷市政会館	第 4 回長崎セミナー 講師：ブライアン・バークガフニさん (長崎総合科学大学教授、グラバー園名誉園長) テーマ：「長崎居留地の歴史・建物・人物像」
11 月 21 日 (土)	日本工学院専門学校 大講義室(大田区蒲田)	「大田区・長崎市交流シンポジウム」 ◆講演(第 5 回長崎セミナー) 講師：原田博二さん (長崎史談会会長、元長崎市立博物館館長) テーマ：「出島と勝海舟から見る日本の近代化」 ◆大田区長、長崎市長の対談 テーマ：「個性輝くまちづくり・ひとづくり」
<b>平成 28 年</b>		
1 月 30 日 (土)	日比谷市政会館	第 6 回長崎セミナー 講師：岩波智代子さん (智書房代表取締役、長崎楽会会員) テーマ：「教会とキリスト教」
2 月 7 日 (日)	国際ファッションセンター ビル	長崎検定受験 2 級 - 4 名、3 級 - 5 名が受験
3 月 21 日 (月・休)	ベルナード観光通り	長崎伝習所まつり 講演内容のパネル展示と塾生制作の検定問題展示

## 第1回セミナー

日時：平成27年5月16日(土)

講師：股張一男さん(長崎市観光政策課長・  
検定1級取得者)

### 【長崎の歴史文化編】

〔安土桃山時代〕長崎の地名の由来、アルメ  
イダのキリスト教布教、長崎六ヶ町の建設、  
26 聖人殉教。

〔江戸時代〕興福寺・出島・唐人屋敷等長崎  
市の文化財、長崎海軍伝習所・医学伝習所・  
シーボルトの功績・信徒発見等。

### 【光と長崎さるく】

長崎さるくの進化、観光客は旅博ーさるく博  
ー軍艦島上陸ー龍馬伝ー世界新三大夜景の度  
に増加。

「明治日本の産業革命遺産」登録。

「長崎教会群とキリスト教関連遺産」の今後。

「長崎さるく博」10周年。

「JR デスティネーションキャンペーン」

決定(平成28年10月～)



## 第2回セミナー

日時：平成27年7月4日(土)

講師：山口広助さん(長崎歴史文化協会理事・  
料亭青柳の経営者)

### 【長崎の町名、地名について】

岬(現県庁)に教会ができ、その周りに町が  
出来始める。

町名は、(1)移住してきた人の出身地 (2)人の  
名 (3)職業にちなんだ町 (4)地形(地勢)にち

なんだ町に大別。

(1)は、島原町、大村町、横瀬浦町。その後樺  
島町、五島町。(2)は興善町、勝山町、国分  
町。(3)は船大工町、油屋町、桶屋町、鍛冶  
屋町。(4)は江平、浜平、赤迫。

浦上地区はおめでたい町名。八千代町、宝町、  
幸町、平和町。

### 【その他】

「長崎街道」ウォーキング 蛸茶屋→大村  
平和祈念像、原爆公園の像、聖徳寺の阿弥陀  
如来像、坂本龍馬の像の関係



## 第3回セミナー

日時：平成27年9月26日(土)

講師：船津義海さん(長崎検定1級の会会長)

### 【長崎さんぽ】

ポルトガル人の寄港地の変遷 平戸→横瀬浦  
→福田→長崎。

大村純忠が長崎をイエズス会に寄進した経緯。

1634年は「出島」「くんち」「眼鏡橋」の年。

中島川の橋は、寺町の各寺の参道→好景気で  
檀家が寄進

1663年、筑後町から出火した大火災によっ  
て、町の区画整理が進み、77の踊り町誕生  
→11町ずつ7年ごと。

今はない長崎港駅、長崎駅まで(1.1km)の線  
路は緑地帯。

グラバー住宅の主の推移とグラバーの子・倉  
場富三郎の死の経緯。



#### 第4回セミナー

日時：平成27年10月31日(土)

講師：ブライアン・パークガフニさん(長崎総合科学大学教授・グラバー園名誉園長)

【長崎居留地の歴史・建物・人物像】

グラバー住宅は、南山手の一本松の下に建てたため、「IPPONMATSU」と名付けられた。のちに松は伐採。

グラバー住宅の隠し部屋は「倉庫」。居留地は治外法権で坂本龍馬らへの警察権力は及ばなかった。

長崎の洋館(?)は和洋折衷。下から見れば洋風だが、上から見ると和風。

5番地はアメリカ領事館、6番地はイギリス領事館、7番地はホーム・リンガー商会、香港上海銀行跡の南側は長崎ホテル。

長崎港は小船で物資を運搬していた。大正13年に大栈橋ができる。

グラバー商会の倒産は、熊本藩購入予定の船の料金未払いのため。



#### 「大田区・長崎市交流シンポジウム～歴史でつながる二つの都市のチャレンジ～」

日時：平成27年11月21日(土)

場所：日本工学院専門学校大講義室  
(東京都大田区蒲田)

基調講演(第5回セミナー)

講師：原田博二さん(長崎史談会会長・元長崎市立博物館館長)

講演テーマ【出島と勝海舟からみる日本の近代化】

川原慶賀の絵で、出島、シーボルトの生活を説明。

オランダ船の入港から、検疫や商品への入札等、絵画が現存。

出島の復元計画。河川工事で削られた部分を拡張。出島表門橋を架橋工事中。

長崎海軍伝習所は現在の県庁の南側。

勝海舟は、当時「本蓮寺」に滞在。当時長崎に旅籠等はなかった。・勝海舟が徳川家から賜った短刀が、長崎の東照宮に奉納されている。



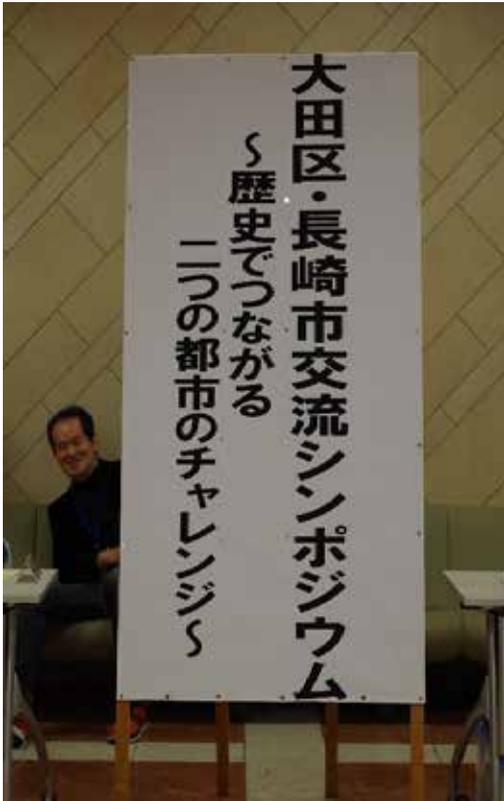
大田区長・長崎市長対談

テーマ【個性輝くまちづくり・ひとづくり】

大田区と長崎市の次なるチャレンジ戦略の話題に…。

(大田区)羽田空港を抱える大田区の次なる国際化戦略を中心に、観光地を持っていない町としての集客のための政策を熱弁。

(長崎市)観光資源のレベルアップやクルーズ船招致等で来崎人数を増やす戦略を力説、一方、地勢上および人口減の問題で坂の上部にある無人住宅の対策を説明。



## 第6回セミナー

日時：平成28年1月30日(土)

講師：岩波智代子さん(智書房代表取締役・長崎楽会会員)

【長崎の教会群、世界遺産への歩み】

世界遺産登録への道筋。

ザビエルからのキリスト教の歴史。

天正遣欧使節4名のうち、殉教者は中浦ジュリアンのみ。千々石ミゲルは棄教。原マルチノ、伊東マンショは病死。

使節4名だけが注目されているが、実は随行した職人たちが西洋の技術を持ち帰った。

飾り職人だったドラード(日本人)は、活版印刷の技術を持ち帰った。

26聖人のうち外人司祭は6人。メキシコ人が1人含まれていて、(スペイン人4人、ポルトガル人1人)メキシコ政府は26聖人教会(フィリッポ教会)の建設に多額の援助をした。1618年、懸賞訴人の高札(銀30枚)。

1643年に神父(マンショ小西、マルチノ式見)が殉教。→潜伏の時代。

「帳方」の仕事は「復活祭」の日の設定。

「暦」を保存、日数を計算。

1865年3月17日、浜口町の産婆・杉本ゆりがフランス寺を訪ね、「信徒発見」。かくれキリシタン側からすれば「神父発見」。本物の神父かどうか確かめるための3つの質問。

(1) マリア様の像は？(2) 奥様は？(3) 教皇様のお名前は？プチジャン神父の返答で本物と分かった。



## 活動を終えて

江戸時代の「忠臣蔵」は誰もが知っているメジャーな話です。では「フェートン号事件」は、どれだけの人が知っているのでしょうか？

幕末の「池田屋事件」もほとんどの人が知っている出来事ですが、「いろは丸事件」は、坂本龍馬のファン以外は誰も知りません。

そんな歴史の大舞台に長崎が立っているということ、また、その大きな流れの中に長崎が存在しているということを、今回の活動で知ることができ、この1年の活動が大変有意義だったと痛感しています。

長崎は、もともと歴史的な名所旧跡が多いということで、日本全国の人たちに長崎のことを知ってもらおうという活動に不慣れではないかと思っています。

私が、長崎の歴史の一端を語ると、目を輝かせる人がたくさんいます。特に仕事をリタイアした中高年の方々、歴史好きの女性等ほうわべではない長崎の表情に感激し、セミナーの聴講を申し込んできました。このような方々を、より長崎ファンにするべく今後も活動して行きたいと思います。

唯一の心残りは、今年は座学のみで、フィールドワークができなかったことです。来年度もこの塾が継続できるようなら、長崎ゆかりの人物の足跡をたどる活動や、東京ではなかなか味わうことのできない食の旅を企画してみたいと思っています。

また、東京で各々独自に活動している「NAGASAKI LOVERS」との連携をはかり、「輪」を広げていきたいと思っています。

キャッチフレーズを作りました。

「目指せ！在京長崎郷土史家」。

## 塾生コメント

藤田 茂

塾の目的でもある「長崎を応援する」方法のひとつとして、色々な方々に長崎への関心を持ってもらう、そして長崎を訪れてもらうということがあげられると思うが、まずは知らなければそこには繋がらないものであろう。

長崎は歴史・文化・観光資源が豊富であり、それらを知ってもらう手段として、長崎検定を利用するという事は、最も早道ではないだろうか。

同時に検定受験という目に見える目的を持つことも大変有効なことと考えている。

長崎検定塾は長崎検定の受験勉強という面とともに、自分の郷里(あるいは関心のある地)を知って関心を深めるという二面性を有しており、塾にとっては検定受験が必要条件ではない。

また、市が主催する塾が、商工会議所主催の「長崎検定」の学習を行っていくことは、相互の持てる資産の有効活用であり、意義のあることであると思う。また、さらに近隣地域や長崎県などと連携した形での広がりを見せていくであろう。

個人的には、塾生として参加し、新たな発見が多くできて非常に楽しめたと思う。また、数十年ぶりに勉強して、3級、2級に合格できた自分に、「まだまだできる」を認識できたことは副次的な細やかな効果であろう。

辻川 智子

「長崎検定塾」の開塾…。私自身、昨年初めて東京で行われた検定試験で3級にチャレンジし、改めて長崎の魅力を認識でき、「長崎検定」の告知の必要性を感じ、この塾の存在意義の大きさを準備段階から感じていました。

いざ、始まってみると、長崎からお越しいただく先生の講義に、塾生の真剣に取り組む姿勢は熱を帯びるばかりで、大学のゼミでの議論を想像させるような時もあったくらいです。

その甲斐あって、今年、多くの塾生が検定試験に合格しました。ただ、合格しただけでは、「長崎への応援」には程遠いので、塾生が首都圏での長崎観光のPRボランティアとして活動するなど、新たな展開に繋がることを夢見ています。

次年度もこの塾は続きます。長崎の魅力をもちながらさきに行ける恩返しを模索し続けたいと思います。

## 長崎検定塾～もっと長崎ば知ろう～

塾長	小岩 寿樹				
1	藤田 茂	21	遠藤 真弓	41	
2	辻川 智子	22	成田 花緒里	42	
3	高山 美枝子	23	前田 利夫	43	
4	市原 実	24	松尾 一昭	44	
5	坂本 貞好	25	松尾 陽子	45	
6	石川 雅章	26	江頭 康仲	46	
7	高崎 祐子	27	山城 興輔	47	
8	吉開 友子	28	與賀田 直哉	48	
9	田中 麻紀	29	山本 郁子	49	
10	滝野 隆浩	30	豊島 正伸	50	
11	田村 由樹	31		51	
12	田中 洋子	32		52	
13	数原 有希子	33		53	
14	田尾 正行	34		54	
15	矢ヶ部 晋	35		55	
16	藤馬 寛剛	36		56	
17	園村 圭子	37		57	
18	生井 久子	38		58	
19	芥川 良子	39		59	
20	常井 久	40		事務局員	東京事務所 渡辺 清英